



大井第一小学校

同窓会 会報20号

発行責任者 大野 正恒

平成30年 7月

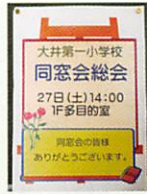
同窓会の一年間の主な活動紹介



入学式参列



同窓会通常総会



運動会



同窓生の集い



作品展見学



1年生の授業「昔遊び」に協力



大一まつり参加



卒業式



川巖先生に行って頂き大変好評でした。遠方からの来校者を含め約80名

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早

川巖先生に行って頂き大変好評でした。

また、昨年の「同窓生の集い」では

は歯に関する講演を同窓生である早



同窓会会長 大野正恒

大井第一小学校同窓会の活動

の参加を頂きました。今年も「中国の現状」について、中国駐在の同窓生の講演を予定しています。同窓会活動は皆様の会費で成り立っていますが、会費収入の減少と郵便料金の値上げの影響で財務状況が厳しくなっております。現在、会費納入者は会報発行部数の一割未満で、このままでは会報発行が難しくなります。会費未納の方は今年からでも遅くはありませんので、是非、会費納入にご協力をお願いします。一口千円からです。寄付も受け付けています。

第10回同窓生の集い

鹿嶋神社祭礼の日
懐かしい「大井第一小学校」に集まろう
会合・集合場所としてもご利用ください。

日時：平成30年10月21日(日)
11時～15時
会場：大井第一小学校 1階 多目的室

大井第一小学校に着任して

副校長 倉次 里絵



今春、本校の二人目の副校長として品川区立中延小学校より着任いたしました倉次里絵と申します。小山副校長と共に力を合わせて励んでおります。どうぞよろしくお願い申し上げます。同窓会の皆様が築かれました輝かしい伝統と素晴らしい校風に満ち溢れた大井第一小学校に勤務できますことを有り難く思うとともに、その重責を深く胸に刻んでおります。

今年度の大井第一小学校は、六年生による入学準備で幕を開けました。最高学年として新入生のために活躍する様子は清々しく、見事でした。また、入学式では二年生が歌とメッセージを立派に披露し、温かな歓迎で包まれました。上級生が下級生に対して、もっている自分の力を存分に発揮し、できることを責任をもってやり通す子どもたちの姿に本校の素晴らしい伝統が立ち上がっていました。

す。実に爽やかな始業風景です。間もなく、教室から「陽がのぼる 陽がのぼる」と心と声を合わせた子どもたちの美しい歌声が聞こえてきます。このような素晴らしい校風は一日で築かれるものではありません。長い歴史で培われた本校の良さをしっかりと受け継ぎ、大切に育ててまいります。

最後になりましたが、改めまして、同窓会の皆様が本校を誇りに思い、在校生の教育活動にお力添えをくださっていますことを心より感謝申し上げます。そして、今後とも引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。この学び舎で子どもたち一人一人が確かな学力、豊かな感性、強い心を育て、やがて同窓生の皆様のように、地域で、国際社会の舞台で、力を存分に発揮できるように、教職員共々学校教育の充実に努めてまいります。



正門の外側

正門の内側

だいいちどう 大一堂があった場所に花壇ができ 玄関前が広々と綺麗になりました

***** 平成29年度の教職員の異動

I 転出

- 主任教諭 椎名 倫子 (品川区立延山小学校へ)
- 主任教諭 川田 貴子 (大田区立出雲小学校へ)
- 主任教諭 松田 絢也 (小金井市立南小学校へ)
- 教諭 長久保良太 (江東区立南陽小学校へ)
- 教諭 谷垣ゆかり (大田区立池上小学校へ)
- 養護教諭 斉藤ゆかり (大田区立東蒲小学校へ)

***** 平成30年度の教職員の異動

I 転出

- 主任教諭 森 みゆき (世田谷区立東深沢小学校へ)
- 教諭 小出 麻美 (品川区立城南第二小学校へ)
- 教諭 佐保田朗史 (福岡県中間市立中間東小学校へ)
- 主任養護教諭 小野瀬佳葉 (世田谷区立船橋小学校へ)



人工芝に整備された校庭

***** 平成29年度の児童の活躍

第六回品川蕪品評会 金賞 大井第一小学校(5年生)



初出品の第四回から3年連続で、金賞受賞した3本のトロフィーは校長室に飾られています。

平成29年度東京都小学生科学展 東京都教育委員会賞

「クモの糸はどのくらい強いのか」 4年月組 柿沼 英樹 研究内容は同窓会ホームページに掲載

森俊子先生の想い出

昭和49年竹組卒 岩田 眞美
(旧姓 井上)

昭和45年から約13年間に亘り大井第一小学校の教壇に立たれた森俊子先生が、平成30年2月11日に91年と5か月の生涯を終えられました。昭和47年4月から2年間、五竹、六竹で担任していただいた教え子として、先生の想い出を振り返ります。

2月18日、祭壇で向き合った森先生は、やっぱりいつもの笑顔でした。「まみちゃん、マミー！」と、張りのある元気な声が聞こえて来る気がしました。自分が小学生に戻ったみたい、その頃の風景がふわーっと浮かんできました。



当時の森先生

先生は、暗赤色に近いエンジ色のジャージの上下をいつ

も着ていらして（あくまでも私の記憶の中です。もちろん素敵な服でドレスアップされていた時もあったでしょうが）、ダンスのようなりズミカルなステップで元気いっぱい飛び回っていました。実際にダンスもお上手で、体育の時間に創作ダンスに取り組んだ事も覚えています。表現力が豊か、ある意味オーバージェスチャーで、舞台俳優のようでもありました。はきはきした大きな声で、苗字ではなく、下の名前やあだ名で、子ども達を呼んでいて、児童

の中には、びっくりして戸惑った子もいたかもしれません。お天気がいいと、授業を潰してドッジボールをやった事も多々あり、「まみちゃん」と呼ばれるのは好きでしたが、ドッジボールは苦手でした。授業も熱心で、研究発表をさせたり、個々の児童に合ったサポートをしたり、画期的な取り組みをされていました。

小・中・高・大と、色々な先生に教わりましたが、私の中では、まさにザ・先生、一番インパクトがあります。多分、他の児童にも、色々な意味で強い印象を与えた先生ではないでしょうか。きっと教師が天職と自負していらして、子ども達のことが大好きだった先生、何でも一生懸命、全力投球で、みんなと一緒に頑張って喜怒哀楽を共有してくださいました。黒板の字が綺麗で、毛筆も素晴らしい、先生らしいのびのびと大胆な筆使いで迫力がありました。私の結婚式のスピーチでは、一番笑いを取っていらつしやいました。

最後にお会いしたのは、ご自分で入居を決められたホームを訪ねた時です。困っている人がいると、つい世話を焼いて相談に乗っていると話す先生は、相変わらずお元気で職員からも頼りにされていて、先生らしいなと感じました。きつと、あちらの世界でも、元気な歌声や笑い声を響かせていらつしやる事でしょう。私も、耳に残る「しつかりね！」という先生の声を励みに頑張ります。

同窓会会員通信欄

昭和12年竹組卒 落合 盛夫

○会報ありがとうございました。80年前の卒業生です。

昭和15年月組卒 代田 益穂

○月組のクラス会・今年90才（卒寿）となりました。身体の具合の悪い方が増え、今年は3名の集まりでした。来年も集まろうと元気でした。

昭和16年竹組卒 小島 章伸

○いつもありがとうございます。

昭和17年松組卒 渡辺 亘

○長い間お世話になってます。今後も同窓会のご発展をお祈りいたします。

昭和18年松組卒 原 睦夫

○元気でおります。

昭和18年梅組卒 磯部 淑江

○5年分の会費を送ります。

昭和25年梅組卒 吉村 陽子

○昭和25年卒（若竹会）と昭和35年卒（竹の子会）との合同で、松崎先生を囲む会を開催。いつまでも先生のご健康と本校の発展をお祈りしております。

昭和26年松組卒 下川 純弘

○昨年度は会費納入をうっかりわすれましたので、今年は2回分払います。

昭和26年松組卒 平出 武

○いつもお世話になってます。

昭和32年月組卒 新井 清子

○1・2年生の時の担任、松崎濤子先生がご健在でいて下さることがとても嬉しく誇りです。何と先生は私の母と大井第一小で同期だったのです。そんな深いご縁の先生にはこれからもお元気でいて頂きたいと心から願っております。

昭和32年雪組卒 中島 紘子

○会報をいつも楽しみに読まして頂き大井町の事を思い出しております。

昭和34年竹組卒 日合 裕子

○いつもありがとうございます。

年に数回上京しますが総会と同窓生の集いどちらとも日が合いません。

昭和44年月組卒 遠藤 信一

○北川先生とバトントワリングをさせて頂きました。懐かしい思い出と共に、北川先生のご冥福をお祈りします。

昭和61年月組卒 小野沢江美

○飯山市に移住して2年目になります。畑のイロハを教わりながら過ごしています。





今回から新しくスタートします、「同窓生紹介」は前号で「となりの有名人(仮)」とご案内いたしましたコーナーです。大井第一小学校の同窓生の中には、皆様のよくご存知の有名人や著名人の他にも、様々な分野で活躍されている先輩方がたくさんいらっしゃいます。その先輩方へのインタビューや寄稿を掲載して、次世代を担う若い方達への何かしらのヒントになれば良いかと思えます。

理科と音楽と地震火山観測

昭和35年梅組卒 小宮 学



10年程前、気象庁を定年退職し、現在は親の世話をしつつ、のんびり過ごしています。気象庁では地震・火山が主な仕事でした。テレビを見る時間が急に増え、ニュースや科学番組が主ですが、様々の場面で小学校時代を思い出します。

インタビュアー 杉本晴重

杉本 第一小学校在校時、好きだった学科や思い出を、まずはお聞かせ下さい。

小宮 理科と音楽の経験が大きかったです。理科は授業だけでなく家庭・友達等も。例えば夏休みの宿題、校舎の工事、理科室・準備室の器具・展示物、遠足、工場見学とかです。夏休みの宿題は「やるもの」と思っていたので、昆虫採集・貝標本・花粉観察・生物飼育・工作等まじめにやりました。いづれも当時の定番ですが、それぞれの分野に達人がいて、その友達にくっついて教わりました。4年のとき「季節便り」の題名で一年間生物観察する宿題があり、花・虫・鳥等を見た日・姿等を記録しましたが、学年末に先生が「やった人」と言い「先生が宿題を覚えていた」と妙に驚きました。当時の一年は人生ほど長かった。やったのはクラスで二人でした。5・6年は船・鉄道模型に熱中しました。模型達人の友達の家「秘密工場」で暗くなるまで格闘しました。入学した頃はベビーブームの校舎不足・二部授業で、校舎増築・講堂・プール新築等工事が続き、毎日飽きずに見ていました。当時、ミキサー車でなく、作業員がミキサーにセメント袋をあけコンクリを手押し車で運んで鉄骨に流し込んでいました。たき火で灼熱した鉄骨を空中に投げつけて建築物の金にと、廃品回収の古新聞を持って

登校しました。5年のとき理科教育指定校になり、新築の理科室にはさらに実験器具や展示物が並びました。音楽では合奏の楽しさを知りました。アコーデオン・オルガン・打楽器等が当時としては整っていたようです。佐治先生のもと、放課後、暗くなるまで10〜20人で合奏練習をしました。夜道を友達と帰るのが楽しく、今でもその頃の曲が流れるとワーブして感動します。アコーデオンは社会人になつて宴会ミュージシャンに役立ちました。また、40歳位までアマチュアオケをやりましたが、あの頃の喜びが根源と思います。

杉本 社会に出てからのお仕事、特に記憶に残る経験をお聞かせ下さい。私は平成12年の有珠山噴火の際に、小宮さんが頻繁にTV出演されたのを覚えています。

小宮 10代後半から宇宙・地球に関心が移り地質学を学びましたが、30歳頃気象庁の地震火山担当となり、日本海中部地震津波、奥尻島津波、阪神大震災、伊豆大島噴火、十勝岳噴火、伊東沖噴火、雲仙岳噴火、有珠山噴火、三宅島噴火等多くの地震火山災害に対応しました。防災は幅広い分野にまたがるので、他省庁・自治体・研究者・報道との連携が重要で、日頃から交流に努め広い知識を得ました。例えば住民避難は自治体の仕事ですが、緊急時に電話で担当者との確に相談できる関係を心がけました。災害時は泊り込み状態になり、データの分析、関係機関との

相談、報道説明会等が続き、地震学・火山学の子測力のなさを嘆きつつ、その限界を関係機関等に説明し、科学を少しでも役立てたいと思い奮闘しました。森羅万象に興味を与えてくれた小学校時代に感謝しています。杉本 本日は貴重なお話をどうも有難うございました。



右の写真は、平成12年3月31日に有珠山が噴火し、洞爺湖温泉の背後から黒煙噴出中の映像です。

(NHK) 左下に映っているのが実況説明中の小宮さんです。



南極観測隊員

昭和52年竹組卒 佐藤 佳昭

大井第一小学校昭和52年に卒業の佐藤と申します。今は閉店してしまいました。三ツ又大和屋の長男、と言ったらお分かりの方もいらっしゃるかもしれません。

しばらく前のことになりますが、第35次南極地域観測（1993/11~1995/3）に参加し、1年間南極で生活したお話をします。

大井第一小、伊藤中学校の後、都立高校を経て新潟の「国立長岡技術科学大学」に進学しました。思えば、子供の頃になぜか家にあつた第1次観測隊の西堀栄三郎さんの書いた「南極越冬記」を読み、雪や氷の世界に強い興味を持ち、雪国の大学を目指したのです。

大学では除雪の研究をし、その縁で日本の南極観測の拠点、国立極地研究所の方と知り合う機会を得、その縁から、いわば補欠のような採用で観測隊員になることが出来ました。



当時は日本から砕氷船「しらせ」に乗って、赤道を超えて南極を目指しました。通常であれば、「しらせ」が昭和基地近く

まで行き、近距離で物資輸送するのですが、この年は海水の状態が悪く、基地までたどり着けず、氷が固くなる深夜に海氷上を雪上車で往復して物資輸送をしたのが観測隊の歴史に残る記録です。

南極に到着するのは12月末、現地の夏です。雪の少ないこの時期には「しらせ」の乗組員にも手伝ってもらい、昭和基地の建設作業に当たりました。重機や削岩機の操作、鳶や大工、コンクリート打設まで、なんでもあります。



越冬中の私の役目は「設営一般、装備担当」ということで、基地に用意されている日用品一式を管理する役で、出発までの半年間

で一年間に必要な分を算定、調達し、現地での管理に当たりました。

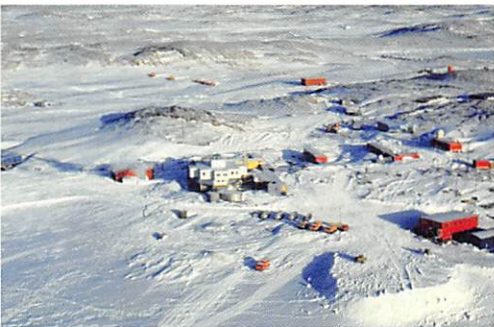
35次隊の最大のテーマが「ドームふじ観測拠点建設」であり、南極氷床の深層掘削のための基地建設です。映画「南極料理人」の舞台になった基地です。南極の真ん中に降り積もった雪（圧縮されて氷になっている）を掘削して、その氷に含まれる水、空気、チリなどから地球の100万年前の気候を紐解こう、という壮大

な計画のスタートでした。

私もこの計画の一員となり、昭和基地を離れて、ブルドーザーに乗ってドームふじ観測拠点までの1000キロの道のりを一ヶ月かけて走り、標高4000m相当の高地、夏でもマイナス30度は当たり前という環境で約2ヶ月の建設作業に当たりました。

南極というめったに行けない場所であるとともに、男だけの1年間、重機の運転、高地・寒冷での作業、オーロラ、ペンギン、ヘリやセスナ乗車、ついでに言えば、4ヶ月間風呂に入れない状況など、他では経験の出来ない貴重な体験をさせてもらいました。

大井町で育った「普通の人」が過ぎた南極での一年が少しでも伝わったでしょうか。大井町からまた南極観測隊員や、あるいは宇宙飛行士などが育ってもらえればと思います。



物故者

情報取得後、順次掲載

卒業年組 氏名 逝去年月日

H 21月	S 42月	S 42月	S 39月	S 35月	S 34月	S 33月	S 29月	S 28月	S 27月	S 27月	S 24月	S 23月	S 21月	S 20月	S 17月	S 17月	S 16月	S 15月	S 14月	S 14月	S 14月	S 14月	S 13月	S 12月	S 11月	S 10月	S 4月	元教員	元教員	元校長	卒業年組
山崎聖也	山本 易	横尾誠治	梅谷和利	加藤千雄	結城幸彦	兼村寛忠	倉澤敏治	徳江三治	小山登喜子	中村瑤子	片山シズ子	土肥義尚	大須康平	山崎道安	川崎瑠璃子	渡辺 亘	若狭泰子	井原 博	有光和子	阿部久美子	竹村昌三	芹澤康夫	柴田良美	片山林一	田中 甫	村井康子	豊田秀雄	森 俊子	坂本礼子	大数見仁	氏名
H 29年	H 27年	H 30年	H 28年	H 27年	H 27年	H 25年	H 27年	H 29年	不詳	H 28年	H 19年	H 30年	不詳	H 30年	H 29年	H 24年	H 29年	H 29年	H 30年	不詳	H 29年	H 29年	H 29年	H 14年	H 7年	H 28年	H 19年	H 30年	H 9年	H 28年	逝去年月日
6	頃	1	8	18	12	2	11	12	8	8	9	2	5	3	2	2	2	4	4	6	9	11	13	7	4	4	頃	2	5	6	



同期会・クラス会報告

昭和21年卒同期会

昭和21年男組卒 田中 茂雄

日時 平成29年10月15日(日)

「同窓生の集い」に第一部の会を予定しておりましたが、雨天のため集まった会員は7名で、展示物の写真、文集、会報等を見学後、御休処として用意された席で御茶、紅茶、御菓子で一服。午前11時半より始まる早川巖氏の歯、特に入れ歯に関するお話しを聴き、会場の多聞天に移動しました。



第二部の多聞天は我々のため貸し切り、他のお客が居ない為、席も時間もゆったりと自由に使用させて貰いました。出席者は11名でした。いつもの通り、

会場多聞天では盛り上がりっぱなし、その為、予定を30分程延長し、尽きない話を途中で打ち切り、次の会場あわやへ移動。ここでも盛り上がり、話は延々と続きましたが、夕暮れも近くなりましたので、終会と致しました。

昭和25年卒若竹会

昭和25年竹組卒 北原 重信

日時 平成29年5月14日(日)

現在では名乗るのも面映ゆいですが、若竹会は、松崎先生担当の昭和25年卒竹組および松崎先生を敬愛する同年卒有志(今年で傘寿です)の会です。同じく松崎先生担当の昭和35年卒竹組(竹の子会)と合同で、「ホテルサンルート品川シーサイド」で松崎先生を囲む会を開催したのち、引き続き先生のご参加を頂き、いつも利用させていただいている割烹ひろせで2次会を(参加者16名)開きました。



松崎先生は、益々、お元気で声も若々しく、我々老人との年齢の差を感じさせません。2次会では、各自の家族や健康上の話等を話し合い楽しく過ごしました。

昭和26年卒同期会

昭和26年松組卒 平出 武

日時 平成29年10月15日(日)

大井第一小学校で同窓会の主催する記念展示会や講演が行われた日、昭和26年卒業生の同期会が開かれた。懐かしい学校見学をした後、学校の近くのレストランに集った。総勢、20名。卒業以来60年以上を経過した同期会としては良く集まった方だと言える。



平成になってから17回目であったが、それでも、当日が初めてと言う出席者が居た。皆、昔を懐かしみ、近況を語ったり、現役時代の活躍を語ったりした。

来年は80歳を迎える老人たちは、年齢に関わらず意気軒昂であったが、最近亡くなった同期生の話になると一様に寂しそだった。それでも、現在、なお現役の同期生も居り、民生委員や、地域の子供指導など、ボランティアで活躍している人も多く居た。結局「生きている間は前を向いて元気に頑張ろう。」という事を結論とし同期会を終えた。

昭和27年卒竹組クラス会

昭和27年竹組卒 曾山 高光

日時 平成29年7月1日(土)

1年ぶりの「クラス」会をお決まりの大井町「竹むら」で開催しました。出席者は女性5名、男性9名の合計14名でした。昨年は13名でした。出席者の何人かは、第一小や、もと自分が住んでいた所を見ながら会場まで来られ、大分変わったとの感想でした。話は当然昔話になり、今年卒業後65年になるのではないかと話しがはずみました。まだ話し足りず会場を大井町「アトレ」の中の「Cafe」で盛り上がり閉会としました。

クラス会・同期会支援

補助金が5千円に変更

当補助金制度の仕組み

- ①クラス会・同期会報告投稿
 - ・ 開催報告記事(400字以内)
 - ・ 出席者の集合写真(数名以上)
 - ・ クラス又は同期の最新名簿
 - ・ 幹事の卒業年・氏名・住所
 - ②幹事へ補助金5千円送付
 - ③投稿の到着後現金書留にて送金回数と期限
 - ・ 1クラス会又は1同期会につき1回/年
 - ・ 平成30年4月/平成31年3月20日まで投稿受付
 - ④送付先 大野正恒宛
- *尚、投稿していただいた記事と写真とは同窓会会報又はホーム・ページに掲載いたします事をご了承下さい。

第9回同窓生の集い報告

例年通り10月の第3日曜日である平成29年10月15日に開催いたしました。当日は生憎の雨模様でしたが、約80名の方にご来場いただきました。



午前中には近隣で歯科医院を開業されている、昭和29年卒の早川巖氏（東京医科歯科大学名誉教授）の「長生きする入れ歯」の講演がありました。

午後からは、「大井町今昔」と題して、二葉町在住の石井彰英氏制作のジオラマのDVD上映会を行いました。
また、今回は4グループがクラス会や同期会を教室や近隣で行うために「同窓生の集い」にも参加してくださいました。

更にケーブルテレビ品の川の取材に大野会長が出演して、同窓会の活動アピールしました。



本年度より、通常総会を毎年開催することになりましたので、今号に限り2回分の総会報告をいたします。

第11回総会報告

日時 平成29年5月27日（土）14時
場所 大井第一小学校 多目的室
出席者 14名
一、会長挨拶 大野 正恒
二、来賓挨拶 木村 巳典 校長
小山 努 副校長

項目	金額	項目	金額
(収入の部)		記録費(事)	25,000
会費収入	1,171,000	クラス会補助金(事)	120,000
入会金収入	34,500	事業費雑費	30,000
雑収入	831	事業費計	1,421,921
①当期収入計	1,210,551	[管理費]	
(A) 前期繰越収支額	2,992,882	会議費(管)	5,798
②収入計	4,203,433	旅費交通費(管)	0
(支出の部)		通信運搬費(管)	0
[事業費]		事務用品代(管)	23,002
総会開催費(事)	0	什器備品代(管)	33,617
秋季大会費(事)	49,983	振替手数料(管)	62,810
会報出版費(事)	427,249	管理費雑費	0
調査費(事)	0	管理費計	125,227
名簿管理費(事)	7,059	③当期支出計	1,547,184
広報費(事)	75,004	(B) 当期収支額(①-③)	-336,597
会議費(事)	7,500	次期繰越収支差額	2,656,285
通信運搬費(事)	730,824	((A) + (B))	

第12回総会報告

三、議事
①事業報告・収支決算報告
及び監査報告の承認
②事業計画及び収支予算の承認
③役員改選の承認
会長 大野 正恒
副会長 住友 光男
副会長 平林 幹夫
副会長 井上 幸子
監事 大山 義広
監事 岩城 英規
以上の議事について承認されました。
詳細報告はホームページに掲載済み。

日時 平成30年5月26日（土）14時
場所 大井第一小学校 多目的室
出席者 11名
一、会長挨拶 大野 正恒
二、来賓挨拶 木村 巳典 校長
三、議事

①事業報告・収支決算報告
及び監査報告の承認
②事業計画及び収支予算の承認
以上の議事について承認されました。
詳細報告はホームページに掲載済み。



第13回総会のお知らせ

日時 2019年5月25日（土）14時
場所 大井第一小学校

*本年度より、通常総会を毎年5月の第4土曜日に開催することになりましたが、都合により変更になる可能性もありますので、ホームページにてご確認の上、ご出席願います。

項目	金額	項目	金額
(収入の部)		記録費(事)	0
会費収入	1,133,050	クラス会補助金(事)	100,000
入会金収入	40,050	事業費雑費	30,000
寄付金収入	10,000	事業費計	1,378,512
雑収入	5,011	[管理費]	
①当期収入計	1,188,561	会議費(管)	5,500
(A) 前期繰越収支額	2,656,285	通信運搬費(管)	0
②収入計	3,844,846	事務用品代(管)	22,414
(支出の部)		振替手数料(管)	64,370
[事業費]		減価償却費	27,172
秋季大会費(事)	20,284	管理費雑費	4,737
会報出版費(事)	472,751	什器備品代(管)	43,200
調査費(事)	0	管理費計	167,393
名簿管理費(事)	0	③当期支出計	1,545,905
広報費(事)	32,200	(B) 当期収支額(①-③)	-357,344
会議費(事)	6,000	次期繰越収支差額	2,298,941
通信運搬費(事)	717,277	((A) + (B))	



★★★
★**会費納入のお願い**★
★★★

同窓会事業を継続していくには、

会報等の印刷代、通信費、事務費、母校に関わる慶弔費等の諸経費がかかります。平成28・29年度の会費納入者は各六〇〇名強で約七、四〇〇名に会報第19号を送ることができました。これからも安定した同窓会活動を続けていくために、会費納入に皆様のご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

一〇1,000円

同封の振込用紙をご利用頂き、左の口座に9月末までにお振り込み下さい。

02東京00170・0・12254
大井第一小学校同窓会

ATMでの振込にご協力下さい

窓口振込130円・ATM振込80円というように、ATMで振り込むと50円の経費節減になりますので、是非ともご協力をお願いいたします。

★★★
★**寄稿のお礼と投稿のお願い**★
★★★

皆様のご協力で、会報第20号を発行することができました。寄稿して下さいました皆様、有難うございました。紙面の都合上割愛した箇所がありましたことをご了承願います。思い出等随時投稿をお待ちしています。3月20日までに事務局宛に郵便又はメールで送ってください。

名簿の資料提供にご協力を

ホームページの住所不明者欄閉鎖

名簿委員会では、会報をお送りするために、「個人情報保護法」に則り、同窓会員の皆様の自宅住所、電話番号の個人データを厳重に管理し、保持しています。

転勤、転居、結婚等により変更となる場合には、事務局までお知らせ下さい。**(ホームページからも可)**

また、5年前からの試みとして、名簿の充実化を図るため、ホームページに卒業年・組別の住所不明者欄を開設していましたが、諸般の事情により昨秋に閉鎖いたしました。住所不明者の判明につきましては、今後も更なる皆様のご協力をお願いいたします。

連絡先はホームページ内、または、事務局・大野まで。

★★★
★**懐かしい写真・資料の収集**★
★★★

皆様のご協力が母校の財産になります

同窓会では、皆様がお持ちの懐かしい写真・資料・卒業アルバムを借りして複製し「同窓生の集い」等で展示したり、母校へ提供したりしております。お預かりした写真や資料は一週間程度でお返しいたします。左記要領にてご協力をお願いいたします。

○着払いの宅配便でお送りください。

○送り先 〒一四〇一〇〇一四

東京都品川区大井一―五三―九

森 秀雄(森商会)宛

同窓会の運営にご協力を!!

同窓会では母校を支援しつつ、同窓生の親睦を図るべく活動をしております。開校140周年記念同窓会を終えて、さらに活発な活動を続けて行きます。そこで、運営に参加して頂ける方を募集しております。

理事紹介

新しく理事に1名加わりました。

理事 小原 伸(昭和42年卒)

母と4人の妹も大井第一小を卒業しました。実家は旧倉田町、現在は旧山中町に妻と愛猫と暮らしています。仕事は、行政施設の責任者として、ご利用者の満足度向上に向けて奮闘しています。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

今までの4月発行では、総会・収支報告・教職員の異動等一年遅れの記事となっていたため、タイムラグをなくそうと、本号第20号より7月下旬の発行となりました。新企画もスタートしました。皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

編集委員

昭和14年卒	津田	照通
昭和30年卒	木村	親光(イラスト)
昭和34年卒	森	秀雄
昭和35年卒	平林	幹夫
昭和35年卒	杉本	晴重
昭和35年卒	住友	光男
昭和39年卒	榊原	恵
昭和42年卒	井上	幸子

同窓会事務局

同窓会ホームページをご覧ください。
URL <http://oildoso.net>

- 大野 正恒 (名簿担当)
TEL・FAX 03-3772-5527
E-mail wpjny726@yahoo.co.jp
- 住友 光男
TEL 090-5750-2602
E-mail m.sumitomo@poplar.ocn.ne.jp
- 平林 幹夫 (ホームページ担当)
TEL 03-3772-9031
E-mail mikio-hira@yk2.so-net.ne.jp
- 井上 幸子 (会報担当)
TEL・FAX 03-3775-6596
E-mail yama_sachiko_i_0209@festa.ocn.ne.jp

品川区立大井第一小学校
〒140-0014 東京都品川区大井 6-1-32
TEL 03-3771-5240

